

電 動 裁 断 機

取 扱 説 明 書

C E - 3 9 A

K - 3 9 E S

O C - 3 9 0 A

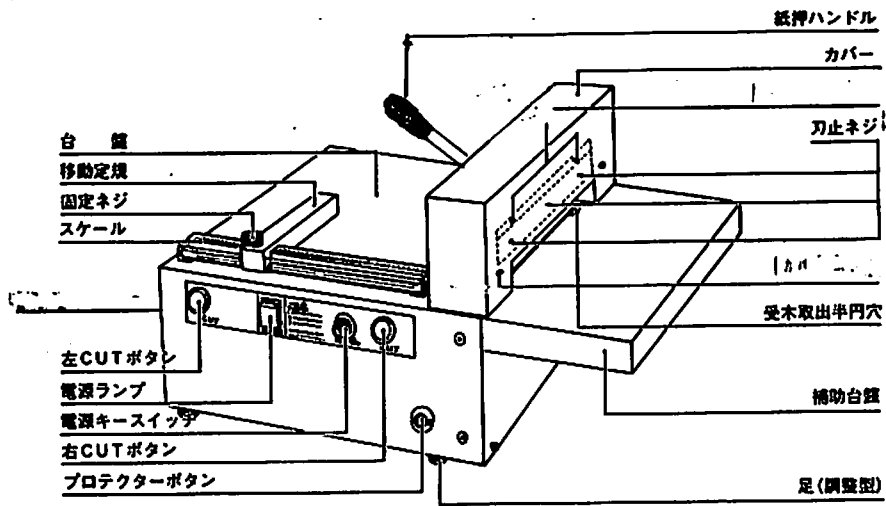
MAITZ Corporation

ご あ い さ つ

このたびは当社製品電動裁断機をお買い上げいただき
まことにありがとうございました。
永年蓄積した当社の機械、電気、電子技術により開発
された本機を末永く安全に、正しくご愛用いただくた
めにこの取扱説明書をよくお読みいただき、ご理解の
上より良いオフィスオートメーション〈OA〉のお役
にたて、いただくよう御願ひ申し上げます。

各部説明

該当機種名	CE-39A ・ K-39ES ・ OC-390A
-------	---------------------------



操 作 順 序

- ① 寸法をセットする。
移動定規の固定ネジをゆるめて、スケールに合わせて固定してください。
- ② 用紙をセットして紙押えレバーで押さえる。
正確に裁断をするには用紙を当枕と移動定規にキチンと揃えて当て、紙押えレバーを手前に強く下げ固定してください。
紙の押さえ方が弱いと裁断ズレの原因になります。
- ③ 電源キースイッチを入れる。
キーを差し込み右に回しスイッチONにしますと緑色のランプが点灯しいつでも作動する状態になります。
●キーは安全管理のため必ず別の場所に保管してください。
●安全のためキーは差しこみっぱなしにしないでください。
- ④ 光線が裁断線です。
電源をONにすると裁断用紙上に光線が照射されますが、この光線が裁断線です。
見当切り等をするのに大変便利な装置ですのでご利用ください。
- ⑤ 裁断する。
2個の黄色のカットボタンを両手で同時に押すと裁断刃が下降し裁断を始めます。
そのまま押しつづけてください。切り終わると自動的に元の上限に戻って停止します。(約3秒間)
- ⑥ 使い終わったとき。
電源キーを左に回し電源OFFにしてキーを抜き所定の保管場所に保管してください。

【特別注意事項】

操作は必ず一人で行ってください。
使用しないときは必ず電源キーは抜いておき所定の場所に保管してください。

異常発生の際の対応

無理な裁断をすると電源が自動的に切れ緑色のランプが消えますから、その時は下記の順序で電源を回復させてください。

- ① 2～3分そのままにしておきます。
- ② 操作盤右下部のプロテクターボタンを押します。
- ③ 緑色の電源ランプが点灯します。
- ④ 枚数を減らして改めて裁断作業を始めてください。

●刃の研磨は通常コピー用紙の裁断を前提に【約2,000回】で研磨をしてください。(裁断回数は裏側のカウンターに表示されています。刃を付け替えた時はボタンを押してリセットしカウンターを0にしておくことを忘れないでください。)

刃の取り出しと取りつけ方法

刃の出し入れに際してはケガをしないよう充分気をつけて慎重に取り扱ってください。

- ① カバー前面の止めねじ左右2個をドライバーでとりカバーを上にあげはずします。
 - ② 紙押えを最下限に下げおきます。
 - ③ 電源を入れカットボタンを両手で押し刃を受木スレスレまで下げます。
 - ④ 電源をOFFにして切ります。
 - ⑤ 4個の刃止めねじを付属工具のL字型大レンチでとりはずし左方向にスライドさせ抜き出します。
 - ⑥ 次に新しい刃又は、研磨した刃を左側からスライドさせて入れます。刃当板の4個の穴と合わせ止めねじを取りつけ固く締めます。
 - ⑦ 電源を入れカットボタを押し刃を最上限に上げます。
 - ⑧ 裁断テストをします。
100枚位の紙を用意して裁断テストをしてみてください。
切れ残りが出たときは次の要領で調整してください。
- ☞ 左半分に切れ残りが出る場合。
刃を受木に当たる迄下げ電源を切る。
左から3個目迄の3個の刃止めねじを少しゆるめる。
刃当板上部の刃調整ねじ穴に付属工具小レンチを入れ、少しずつ右に回し刃を下げていきます。受木に2mm位刃が食いこむように強く下げてください。(左側の刃は右側よりも2mm下げてセットするのが標準です。)
次に刃止めねじを固く締め、電源を入れカットボタを両手で押し刃を元の位置に戻して、裁断テストをしてみてください。

- ☐ 右半分が切れのこりが出た場合。

刃を受木に当たる迄下げ電源を切る。

右から3個目迄の3個の刃止めねじを少しゆるめる。

刃当板上部右側の刃調整ねじ穴に付属工具の小レンチを入れ、少しずつ右に回し刃を下げます。刃を受木に軽く食いこむ程度で止め、ゆるめた3個の固定ねじを固く締め、電源を入れカットボタンを両手で押し刃を元の位置に戻して、裁断テストをしてください。

- ⑨ カバーをセットして前面のカバー止めねじをしてください。
以上で通常の裁断作業ができます。

受木の交換方法

- ① 電源を切ってください。
 - ② 右側の方の半円の穴に電源キーか、ボールペン等の先を入れ押し上げるとはずれます。
- ☐ 受木は一面で向きを逆にすれば（右端を左端にもっていく）2面に使え、1本は四面につかえます。

こんなときは？

ト ラ ブ ル	対 応 方 法
電源キースイッチを入れても 作動しない。	<p>① 電源コードの差し込みプラグはコンセントにキチンと差し込まれていますか？</p> <p>② プロテクターのボタンは飛び出していないか。もしも飛び出していたら押し込んでください。</p>
切れ残りが出るとき。	<p>受木の面を変える。（受木の交換方法参照）</p> <p>受木を変えても切れのこる時は刃が磨耗しています。研磨をしてください。 （販売店に依頼してください。）</p> <p>このとき予備の替え刃をご用意いただくと便利ですので予め購入されることをおすすめいたします。</p> <p>切れ残りが部分的のときは〔刃の取り出し取りつけ方法〕ページの「切れ残りの出る場合の項」をご参照ください。</p>
紙断用紙の上と下の寸法が狂 ってしまう。	紙押えの押さえ方が弱いからです。もっとしっかり押さえてください。
用紙の横断面に斜めの切れ傷 が出る。	刃こぼれがあります。 研磨をしてください。

製造元 森マイツ・コーポレーション
宇都宮市宮の内 1-175番地
☎0286-53-0656代表